

あーばんとーく

平成20年5月号（第129号）

●鷹取東第二地区が完成（P.1） ●地震に自信ありますか？（P.2） ●旧居留地“空間像共有の系譜”②（P.3）
 ●神戸らしい眺望景観10選を訪ねて「掬星台からの眺め」、まちづくり会館展示のお知らせほか（P.4）
 あーばんとーくの感想をお寄せ下さい！
 発行：こうべまちづくり会館
<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

震災復興土地区画整理事業

鷹取東第二地区が完成

鷹取東第二地区は、地下鉄板宿駅、JR鷹取駅及びJR新長田駅間の面積19.6haの地区です。

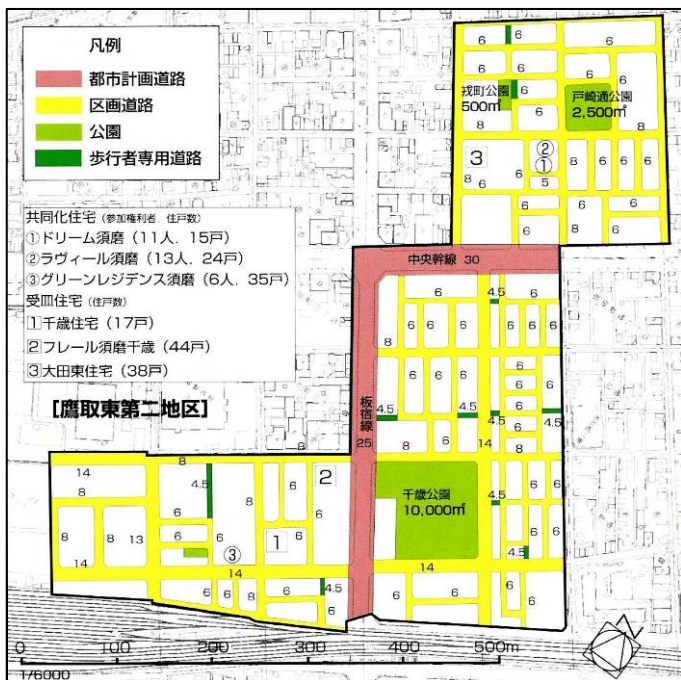
当地区は阪神・淡路大震災により約9割の建物が大きな被害を受け、早期の復興と安全で快適な市街地整備のため、震災復興土地区画整理事業を実施しました。

事業化においては、まちづくり協議会との協議を重ね、平成8年10月25日には全まちづくり協議会から「まちづくり提案」を受け、平成9年3月5日に事業計画を決定しました。

事業を進めるにあたっては、まちづくり協議会で、まちづくりコンサルタントのアドバイスも受けながら、活発な議論が重ねられました。

その結果、公園やコミュニティ道路の詳細が決まり、平成17年4月には千歳公園やコミュニティ道路が完成しました。その後も順調に工事が進み、平成20年3月24日には、換地処分のお知らせを行いました。

これにより11地区で進めてきた震災復興土地区画整理事業の10地区目の事業が完成しました。



〇防災拠点の完成

千歳公園は、千歳小学校の跡地につくられた面積約1haの近隣公園で、防火水槽や防災倉庫等を備えています。また、隣接して地区センターを建設し、コミュニティ道路と合わせて、防災拠点としての役割を担えるように整備しています。



▲ 千歳公園

千歳地区センターとコミュニティ道路 ▼



戸崎通公園は、2,500㎡の街区公園で、「まちの安心をささえる、すべての人にやさしい公園」をコンセプトに、防火水槽を備えるなど、日常利用だけでなく非常時の利用も想定した公園となっています。



戸崎通公園

（神戸市都市計画総局市街地整備部清算課）

地震に自信ありますか？

地震から家族を守るために「すまいの耐震化」を進めましょう



大規模地震は

いつどこで起こるかわからない！

「もう神戸に地震はこない」、「私の家は大地震で持ちこたえた家だから、この先も大丈夫だろう」などと思いませんか？

新潟県中越地方では、平成16年10月にマグニチュード6.8の地震がおき、その3年後の平成19年7月に再び同じ規模の地震が起きたことは記憶に新しいところです。

近い将来、東南海・南海地震などの発生が予測されています。神戸市域では最大震度6弱と想定され、大きな被害を受ける恐れがあります。



神戸市は

「すまいの耐震化」を応援しています

阪神・淡路大震災で犠牲になられた方の約90%は、住宅の倒壊などによる圧死が原因です。特に昭和56年5月以前に建てられた住宅に被害が集中しました。

また、家具や家電製品が転倒・散乱してケガをしたり、避難や救出が遅れたことが報告されています。

この教訓を生かし、地震から家族の生命や財産を守るため、すまいの耐震化を進める必要があります。

神戸市では、無料の耐震診断や、耐震改修工事への補助制度など、すまいの耐震化に関する、様々な支援を行っています。



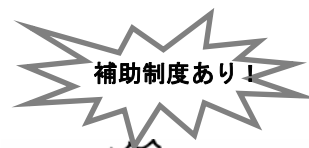
手軽に出来る耐震化
「家具固定」

65歳以上の方、障害者の方、小学生以下の子どもがいる世帯を対象に、工務店などの業者に依頼して行った家具固定費用の一部を補助します。(上限1万円)



家の健康診断
「耐震診断」

昭和56年5月31日以前に建てられた住宅を対象に、無料で耐震診断員を派遣します。
※ツーバイフォー、プレハブ、丸太組工法は対象外(過去に神戸市の診断を受けられた方も対象外です)。



すまいを丈夫に
「耐震改修工事」

昭和56年5月31日以前に建てられた住宅を対象に、設計費用と工事費用あわせて最大110万円(戸建住宅の場合)を補助します。
※工事着手前に申請が必要です。

【耐震改修工事をご検討されている皆様へ】

神戸市では、耐震改修工事補助を受けられる方を対象に、「耐震改修オープンハウス」として、耐震改修工事現場を公開していただける住宅を募集しています。

募集件数は5件(地域バランスを考慮の上、選考します)で、耐震改修事業補助金とは別に協礼金20万円を交付します。詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

●募集期間：平成20年5月8日(木)～平成20年7月10日(木)

「すまいの耐震化」に関する相談・補助金などのお問い合わせやお申込は
神戸市すまいの安心支援センター(すまいるネット)までお気軽にご連絡ください！
TEL 078-222-0186 (土・日・祝日も営業しています【水曜定休】)

■「空間像の共有」から「新たな街並み形成」へ

前項では、旧居留地の震災復興にあたって「大正から昭和初期の近代洋風建築によって形づくられていた頃の街並みを原点とする空間像（囲まれ型街並み）が共有された」と記しました。

では、このような空間像の共有がどのようにして以後の新たな街並み形成に役立ったのでしょうか。

旧居留地連絡協議会では、まず、共有された空間像に照らして現況の街並みが持つ問題点を抽出する作業から始められました。その結果、震災前の街並みが抱えていた問題点として、

- ① 壁面線とスカイラインの混乱（開放型街並み化）
←公開空地の確保と無秩序な高層化が原因
- ② あいまいな外部空間（残部空間）の創出
- ③ 広告物に代表される安易な商業化によるまちなみの混乱

などの点が浮かび上がってきました。

そこで、かつての近代洋風建築はどれも道路から概ね1mほど後退し、互いの壁面線がある程度揃っていること、また建物の高さは20m程度のものと30m程度のものに大別されることなどを考慮し、さらには風格ある賑わいを実現させるという欲張りな視点も加えて、次のような方策が提案されました。

<p>街並み形成の方策の要点</p> <ul style="list-style-type: none">① 囲まれ型まちなみの保全・形成 角壁面線の統一（道路より概ね1mの後退） 角低中層部のスカイラインのゆるやかな統一 （道路幅員により高さ20m、31m）② 風格ある賑わいの演出 角公開空地の確保 角低層部分への店舗等の導入と、屋上・突出広告の禁止

つまり、壁面線とスカイラインを揃えた上で公開空地を確保するという、一見、相矛盾する方針が示されたのです。

そして、この矛盾点への対応策として、協議会が策定した「都心（まち）づくりガイドライン」の中では、画一的な空間構成を求めるのではなく、パティオ（中庭）・アトリウム（建築内広場）・ポルティコ（街廊）・パサージュ（通り庭）等、街区と建築に内包される広場空間の多様な確保策が例示されました。

結果的に、震災後の各々の建替え設計作業の中で、

これら両課題を満足させる解答として多くのビルでポルティコが採用され、これが震災後の旧居留地の風格ある賑わいを醸し出す大きな要素の一つとなりました。壁面線やスカイラインの緩やかな統一という伝統を引き継ぎながらも、賑わいを演出する新たな地区特性を創出することに成功したといえます。

開港以来、旧居留地の街並みは大きく変貌してきましたが、周辺地区に比べるとその速度は緩やかで、震災を経験した今も古い時代の面影をよく残しています。これは居留地が建設された当初から現代にも機能する都市基盤と宅地が整えられ、以後の大規模な都市改造を必要としなかったことが大きな要因ですが、建物についても、居留地時代の商館である15番館の他、8棟の近代洋風建築とよばれるオフィスビルが今も使われています。そして、このようなゆったりとした歴史の流れの中で、近代洋風建築によって構成されていたかつての街並みの“魅力”を将来に継承することがまちづくりの一環として合意されたのです。



震災後の新たな特性となったポルティコ「壁面線の統一」と「賑わい空間の創出」の両課題に対応するために採用された。

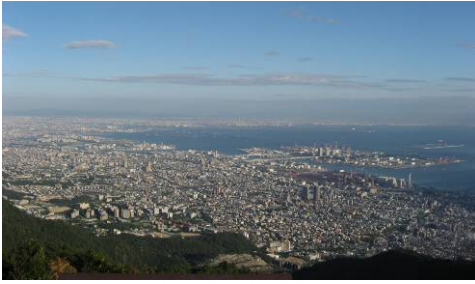


緩やかに揃いつつある中低層階のスカイライン

この稿は、次回に続きます。

神戸らしい眺望景観 10 選を訪ねて 「^{きくせいだい}掬星台からの眺め」

～ パノラマで “まち” を満喫できます。夜は、きらめく宝石箱。～



掬星台は、標高700mの位置にあり、摩耶山の山頂近くにある展望広場です。摩耶ロープウェー「星の駅」を降りると、天の川をイメージした遊歩道「摩耶★きらきら小径」（蓄光石を敷き詰めた道で夜間は青色の光で浮かび上がります。）が展望広場までエスコートしてくれます。

展望広場に近づくと、ハーバーランドから東側の阪神間及び大阪方面の市街地、臨海部、大阪湾の大パノラマ景観が眼下にパッと広がります。

昼間の掬星台も素敵ですが、夜の掬星台はさらに格別です。みなさんは、唯一掬星台からの眺めが「1,000万ドルの夜景」と呼ばれ、「日本三大夜景」のひとつとされているのをご存知ですか？ キラキラ光る宝石を散りばめたようで、昼間見ていた大パノラマ景観が、きらめく宝石箱に大変身！ 現在、観光やデートコースとして人気スポットになっています。今年は、期間限定イベント（冬季）で、「星空の夜景BAR」も開催されていました。（^▽^）/▽▽＼（^。^）

友達や家族と行くもよし、恋人と行くもさらによし、この感動は、ぜひみなさん自身の肌で感じとってください♪

（都市計画総局計画部景観室）

お出かけは、まやビューライン夢散歩（摩耶ケーブル・ロープウェー）で・・・
営業ダイヤなどは、こちら⇒ <http://nrjp.com/seibi/flm/flm-02.htm>

まちづくり会館展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主 催 者
5月 1日(木)～31日(土)	利用促進PR神戸空港ポスター等	みなと総局空港事業室誘致課
6月 1日(日)～30日(月)	土砂災害防止月間パネル展	国土交通省六甲砂防工事事務所

地階ギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主 催 者
5月29日(木)～ 3日(火)	第19回遥洋会油絵展	遥洋会
6月 5日(木)～10日(火)	第53回木曜会作品展《油彩・水彩》	木曜会
6月12日(木)～17日(火)	第6回そらいろの会《油彩》	そらいろの会
6月19日(木)～24日(火)	新樹会水彩画展	新樹会
6月26日(木)～ 1日(火)	神戸高校2回生作品展	神戸高校2回生

展示時間：1階、地階いずれも午前10時～午後6時（水曜日休館） ※初日、最終日は展示時間に変更になる場合があります。



最寄駅

地下鉄海岸線 みなと元町駅西口から1分
高速 花隈駅東口から3分 西元町東口から5分
JR・阪神 元町駅西口から8分

こうべまちづくり会館

〒650-0022

神戸市中央区元町通4丁目2番14号

開館時間：午前10時～午後6時（水曜日休館）

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター（まちづくり会館4F）

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

電話・FAX：078-361-4565

受付：午前10時～午後6時（水曜日休館）

ただし、印刷は5時まで